



松本市図書館だより

平成28年 1月4日発行 第34号

編集・発行 松本市図書館
〒390-0861
松本市蟻ヶ崎 2-4-40
電話/0263(32)0099



謹賀新年



あけましておめでとうございます。昨年は多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございました。本年も職員一同、皆様の図書館ご利用のお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

1月11日 成人の日

江戸時代における元服の習わしでは、12歳～16歳になると「ちょんまげ」を結び、一人前の男として認められました。成人が20歳からというのは、明治に制定された民法第4条「年齢二十歳をもって、成年とする。」で規定され、納税の義務、徴兵の義務等が課せられました。成人が20歳というのは、当時のヨーロッパの成人年齢が21歳～25歳であったため、それに合わせたといわれています。日本では成人式が行われますが、世界では様々な成人の儀式があります。今回はそれをご紹介します。 ※参考：フムフム 人生のイベント/学研小教育出版



日本

日本では成人の日に成人式が行われますが、これは世界でも珍しい事。1946年11月に埼玉県蕨(わらび)町(現在の蕨市)で「青年祭」が開かれ、その行事の中で「成年式」が行われたことが始まり。



アメリカ

誕生日パーティーを楽しく祝う習慣のあるアメリカですが、特に盛大なのは16歳の誕生日。多くの州で、16歳で車の運転免許が取れるようになることも、この年齢が自立へのスタートになることを表しています。



イギリス

イギリスには、21歳の誕生日に親から鍵の絵が描かれたカードを贈られる習慣があります。「門限はありません」という意味で、鍵のマークは自立のしるしとされています。



バヌアツ

南太平洋の島国バヌアツのペンテコスト島では、「ナゴール」と呼ばれる成人の儀式が行われています。ツル草のロープを、成人を迎える男性の足首に縛り、30mのやぐらからバンジージャンプします。命がけの儀式です。



児童文学連続講座

～長くつ下のピッピ生誕70周年記念企画～

＜第1回＞ 1月16日(土) 午前10時30分～
「リンドグレーンの本の魅力とリンドグレーンが残したもの」

＜第2回＞ 1月23日(土) 午前10時30分～
「スウェーデンの子どもの本の魅力」

講師：越高令子氏(ちいさいおうち書店)

会場：中央図書館3階 視聴覚室

定員：40名 要申込み

(どちらか1回のみ参加も可能ですが、できれば2回ともご参加ください。)

問い合わせ先：中央図書館(☎32-0099)



長くつ下のピッピ

◎長くつ下のピッピ

2月2日～28日の間、中央図書館ロビーにおいて、スウェーデン児童文学パネル展も開催予定です。どうぞお楽しみに♪

新刊のご案内



『きょうも箸袋でラブレター』

歌代子／著 マガジンハウス 【816カ 所蔵館：南部 寿台 波田】

主婦カヨコが毎朝密かに気合を入れているのが、夫のお弁当に付ける箸袋作りです。箸袋にイラストとメッセージを添えて渡すと、お弁当を食べた夫からもイラスト付きの返事がきます。ふたりが描く愛のつまった“箸袋”往復書簡をご覧ください。大切な人へ箸袋でラブレターを作ってみたくなるかもしれません。

『ニッポンのトリセツ』

ゴーシュ／編著 立東舎 【361ニ 所蔵館：あがた 寿台 中山 波田】

海外からの観光客が年々増加の一途を辿っています。私達が海外を訪れる時に持っていくガイドブックを、彼らも持っていることが多いです。彼らの自国で発行されたガイドブックには、一体どのようなことが書かれているのでしょうか？日本に暮らす私達には当たり前のことが、彼らには奇異に映ることも多いようです。日本はどのような国なのか再発見できる、そんな一冊です。



予約本ベスト5

平成27年11月15日～

平成27年12月15日受付

一般書

- 1位 『人魚の眠る家』
東野 圭吾／著、幻冬舎
- 2位 『下町ロケット2』（ガウディ計画）
池井戸 潤／著、小学館
- 3位 『わが心のジェニファー』
浅田 次郎／著、小学館
- 4位 『モノは好き、でも身軽に生きたい。』
秋川 滝美／著、アルファポリス
- 5位 『竈河岸（へっつい）』（髪結い伊佐次捕物余話14）
誉田 哲也／著、幻冬舎

児童書

- 1位 『まどから★おくりもの』
五味 太郎／作・絵、偕成社
- 2位 『もうぬげない』
ヨシタケ シンスケ／作、ブロンズ新社
- 3位 『ノラネコぐんだん おすしやさん』
工藤 ノリコ／著、白泉社
- 4位 『りゆうがあります』
ヨシタケ シンスケ／作・絵、PHP研究所
- 5位 『Orange 2』
高野 莓／原作・イラスト、双葉社

図書館に聞いてみよう!



【今月の事例】

Q. お正月に門松を飾るのはなぜ？

- A. ア 『図説 面白くてためになる！日本のしきたり』
永田 美穂／監修（PHP研究所 2012年）
イ 『日本人のしきたり』
飯倉 晴武／編（青春出版社 2003年）
ウ 『小笠原流 日本のしきたり』
小笠原 清忠／著（ナツメ社 2008年）

諸説はあるようですが、無病息災の加護を与えてくださる年神様が、新年を迎える際に迷わず降りてくる時の目印として木を立てたのが始まりといわれています。

神が宿る木と考えられていた松に、竹の生命は長く、それにあやかって長寿を祈願し、春に先駆けて咲くめでたい梅をそえて飾られるとの事です。

昔は、杉や榊を飾った事もあるようです。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

新しい一年が始まりました。本の福袋はいかがだったでしょうか？

これからも、色々楽しい試みを行っていきたいと思いますので、今年も図書館へのご来館をお待ちしております。

FMまつもと 今月の出演

1月6日（水）12：40～

チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください

